平成 25 年 6 月 24 日

各　位

東 京 都 新 宿 区 揚 場 町 2 番 1 号
大 興 電 子 通 信 株 式 会 社
代表取締役社長　　津　玉　高　秀
（コード番号８０２３ 東証第二部）
問合せ先
取締役　上席執行役員
コーポレート本部長　山　寺　　光
（ＴＥＬ０３－３２６６－８１１１）

（訂正）「平成 22 年３月期　第２四半期決算短信」の一部訂正について

当社は、平成 25 年６月６日付の当社適時開示「調査結果の概算額および決算発表予定日について」でお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成 21 年 11 月 12 日付「平成 22 年３月期　第２四半期決算短信」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせします。

訂正箇所が多数に上るため、訂正前および訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線＿を付して表示しております。

以 上

（財）財務会計基準機構会員

【訂正後】

平成 22 年３月期　第２四半期決算短信

平成 21 年 11 月 12 日

上 場 会 社 名　大興電子通信株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　8023　　ＵＲＬ　http://www.daikodenshi.jp/
代　表　者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）高橋　正道
問合せ先責任者　（役職名）執行役員 管理本部副本部長（氏名）荻田　修　TEL(03)3266-8111
四半期報告書提出予定日　平成 21 年 11 月 13 日
配当支払開始予定日　―

（百万円未満切捨て）

１．平成 22 年３月期第２四半期の連結業績（平成 21 年４月１日～平成 21 年９月 30 日）

(1)連結経営成績（累計）　（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22 年３月期第２四半期	14,967	△22.2	△249	－	△249	－	△341	－
21 年３月期第２四半期	19,244	－	△247	－	△249	－	△441	－

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
22 年３月期第２四半期	△27.42	－
21 年３月期第２四半期	△35.45	－

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円　銭
22 年３月期第２四半期	18,900	3,117	16.2	245.74
21 年３月期	20,831	3,438	15.9	265.95

（参考）自己資本　22 年３月期第２四半期　3,058 百万円　　21 年３月期　3,311 百万円

２．配当の状況

	１株当たり配当金				
（基準日）	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	年間
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
21 年３月期	－	0.00	－	0.00	0.00
22 年３月期	－	0.00			
22 年３月期（予想）			－	0.00	0.00

（注）配当予想の当四半期における修正の有無　：　無

３．平成 22 年３月期の連結業績予想（平成 21 年４月１日～平成 22 年３月 31 日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	36,000	△7.7	1,038	－	1,053	－	825	－	66.24

（注）連結業績予想数値の当四半期における修正の有無　：　無

４．その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）　：　無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　有

(注)詳細は、４ページ【定性的情報・財務諸表等】４．その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

① 会計基準等の改正に伴う変更　：　有

② ①以外の変更　：　無

(注)詳細は、４ページ【定性的情報・財務諸表等】４．その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	22年３月期第２四半期	12,561,219株	21年３月期	12,561,219株
② 期末自己株式数	22年３月期第２四半期	115,699株	21年３月期	111,424株
③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間）	22年３月期第２四半期	12,447,534株	21年３月期第２四半期	12,457,667株

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性がありますことをご承知おきください。

【定性的情報・財務諸表等】

１．連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な景気低迷の影響により、企業収益や設備投資は大幅な減少を続け、雇用は極めて厳しい情勢となっているものの、輸出や個人消費に改善傾向が出てきており、景気に持ち直しの動きが見られております。当情報サービス業界は、企業の収益低迷が長期化していることから、設備投資に対する意欲は抑制傾向にあり、厳しい経営環境が続いております。

こうした環境のなか、当社グループは業績改善実施プランを策定し、アカウントプラン活用による安定収益の確保、高収益ビジネスへのシフト、営業効率の向上、諸経費全般にわたるコスト削減活動の実行等成長基盤の確立と利益構造の改革を進めてまいりました。

部門別に概観いたしますと、情報通信機器部門は企業の投資抑制とハードウェアの価格競争激化により、受注高 42 億 48 百万円（前年同期比 78.5%）、売上高 48 億 11 百万円（前年同期比 64.3%）と前年同期比で減少いたしました。

ソリューションサービス部門は、受注高 125 億 50 百万円（前年同期比 96.4%）、売上高 101 億 56 百万円（前年同期比 86.3%）。同部門の内訳としては、ソフトウェアサービスは、受注高 85 億 64 百万円（前年同期比 128.4%）、売上高 61 億 35 百万円（前年同期比 97.7%）、保守サービスが、受注高 26 億 52 百万円（前年同期比 81.9%）、売上高 27 億 48 百万円（前年同期比 89.2%）、ネットワーク工事が、受注高 13 億 34 百万円（前年同期比 42.8%）、売上高 12 億 72 百万円（前年同期比 52.9%）であります。

この結果、当第２四半期連結累計期間の業績は、受注高 167 億 99 百万円、（前年同期比 91.1%）、売上高 149 億 67 百万円（前年同期比 77.8%）となりましたが、利益面につきましては、付加価値の高いビジネスへの集中化および原価削減策により売上高売上原価率が 1.8 ポイント改善されるとともに、コスト削減による販売費及び一般管理費の減少により営業損失２億 49 百万円（前年同期営業損失２億 47 百万円）、経常損失２億 49 百万円（前年同期経常損失２億 49 百万円）となりました。なお、新株予約権戻入益を主とした特別利益 82 百万円、特別損失として投資有価証券評価損 67 百万円、法人税等１億１百万円を計上した結果、四半期純損失は、３億 41 百万円（前年同期四半期純損失４億 41 百万円）となりました。

＜当社グループの四半期業績の特性について＞

情報サービス産業の特性として、ハードウェアならびにシステムの導入および更新が年度の節目である９月、３月に集中して計上される傾向にあるため、当社グループの売上高および利益は、第２四半期、第４四半期に集中、増加する特性があります。

２．連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末より19億31百万円減少し、189億円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が26億39百万円減少し、現金及び預金が３億89百万円、仕掛品が２億47百万円増加したことであります。

負債合計については、前連結会計年度末より16億10百万円減少し、157億82百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が18億44百万円、退職給付引当金が６億50百万円減少し、社債が８億円増加したことであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、６億 62 百万円の支出（前年同期は 13 億 42 百万円の収入）となりました。これは主に売上債権の減少による 26 億 42 百万円の収入及び退職給付引当金の減少による６億 50 百万円の支出、仕入債務の減少による 18 億 44 百万円の支出によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、82 百万円の収入（前年同期は 11 百万円の支出）であり、主に定期預金の払戻しによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、９億 68 百万円の収入（前年同期は 10 億 86 百万円の支出）であり、主に社債発行によるものであります。

これらの結果、当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度の期末残高より３億 89 百万円増加し、33 億 24 百万円となりました。

３．連結業績予想に関する定性的情報

業績予想は、平成 21 年５月 15 日公表時から変更しておりません。

当第２四半期連結会計期間の業績は、概ね計画どおり推移しておりますが、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

４．その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①棚卸資産の評価方法は、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

②固定資産の減価償却の算定方法は、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

請負工事及びソフトウェアの受注制作に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準及び検収基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号　平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号　平成19年12月27日）を第１四半期連結会計期間より適用し、第１四半期連結会計期間以降に着手した請負工事及びソフトウェアの受注制作のうち、当第２四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められるものについては工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他については工事完成基準及び検収基準を適用しております。

これにより売上高は15百万円増加し、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失は４百万円減少しております。

５．四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第２四半期連結会計期間末 （平成21年９月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成21年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,443,940	3,054,364
受取手形及び売掛金	6,485,073	9,124,151
機器及び材料	14,832	19,772
仕掛品	4,614,401	4,366,841
その他	580,016	391,334
貸倒引当金	△6,006	△6,136
流動資産合計	15,132,258	16,950,328
固定資産		
有形固定資産	1,352,171	1,375,074
無形固定資産	225,711	142,215
投資その他の資産		
投資有価証券	1,558,426	1,416,903
その他	704,559	1,040,044
貸倒引当金	△89,348	△92,717
投資その他の資産合計	2,173,637	2,364,231
固定資産合計	3,751,520	3,881,521
繰延資産	16,341	－
資産合計	18,900,119	20,831,850
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,925,903	5,769,946
短期借入金	1,893,000	1,825,000
１年内償還予定の社債	265,200	－
未払法人税等	62,948	89,733
賞与引当金	435,000	433,100
製品保証引当金	3,900	5,100
その他	1,107,934	1,207,766
流動負債合計	7,693,885	9,330,647
固定負債		
社債	534,800	－
長期借入金	132,000	－
退職給付引当金	7,241,596	7,892,167
役員退職慰労引当金	122,038	118,940
手数料返還引当金	9,000	11,000
負ののれん	258	516
その他	49,045	39,884
固定負債合計	8,088,739	8,062,510
負債合計	15,782,625	17,393,157

（単位：千円）

	当第２四半期連結会計期間末 （平成21年９月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成21年３月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,654,257	3,654,257
資本剰余金	272,811	272,811
利益剰余金	△822,947	△481,588
自己株式	△27,366	△26,636
株主資本合計	3,076,754	3,418,843
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△18,443	△106,384
繰延ヘッジ損益	－	△1,436
評価・換算差額等合計	△18,443	△107,821
新株予約権	－	72,392
少数株主持分	59,183	55,279
純資産合計	3,117,494	3,438,693
負債純資産合計	18,900,119	20,831,850

(2) 四半期連結損益計算書

(第２四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成20年４月１日 至　平成20年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成21年４月１日 至　平成21年９月30日)
売上高	19,244,782	14,967,858
売上原価	16,151,379	12,291,588
売上総利益	3,093,403	2,676,269
販売費及び一般管理費	3,340,878	2,926,117
営業損失(△)	△247,475	△249,847
営業外収益		
受取利息	5,431	2,760
受取配当金	12,420	10,167
負ののれん償却額	―	258
持分法による投資利益	―	15,335
その他	20,674	11,736
営業外収益合計	38,526	40,258
営業外費用		
支払利息	15,285	25,717
投資事業組合運用損	8,083	11,426
支払手数料	10,355	―
その他	7,094	3,232
営業外費用合計	40,819	40,376
経常損失(△)	△249,768	△249,965
特別利益		
貸倒引当金戻入額	―	1,627
新株予約権戻入益	―	81,288
手数料返還引当金戻入額	4,892	―
特別利益合計	4,892	82,915
特別損失		
投資有価証券売却損	370	―
会員権評価損	9,875	―
投資有価証券評価損	91,661	67,242
特別損失合計	101,907	67,242
税金等調整前四半期純損失(△)	△346,783	△234,291
法人税、住民税及び事業税	38,648	41,683
法人税等調整額	60,719	60,128
法人税等合計	99,367	101,812
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△4,514	5,254
四半期純損失(△)	△441,636	△341,358

（第２四半期連結会計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結会計期間 （自　平成20年７月１日 至　平成20年９月30日）	当第２四半期連結会計期間 （自　平成21年７月１日 至　平成21年９月30日）
売上高	11,490,007	9,047,443
売上原価	9,369,155	7,281,243
売上総利益	2,120,851	1,766,199
販売費及び一般管理費	1,596,771	1,520,921
営業利益	524,080	245,278
営業外収益		
受取利息	3,060	1,281
受取配当金	3,151	2,386
負ののれん償却額	―	129
持分法による投資利益	10,377	20,135
その他	9,593	7,072
営業外収益合計	26,183	31,005
営業外費用		
支払利息	6,948	13,551
投資事業組合運用損	8,083	11,426
支払手数料	5,272	―
その他	4,238	2,192
営業外費用合計	24,543	27,170
経常利益	525,720	249,114
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,611	624
手数料返還引当金戻入額	3,976	―
特別利益合計	5,587	624
特別損失		
会員権評価損	9,875	―
投資有価証券評価損	89,496	67,242
特別損失合計	99,371	67,242
税金等調整前四半期純利益	431,936	182,496
法人税、住民税及び事業税	17,526	26,107
法人税等調整額	△123,648	△105,633
法人税等合計	△106,121	△79,526
少数株主利益	10,533	8,827
四半期純利益	527,524	253,194

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失（△）	△346,783	△234,291
減価償却費	83,848	49,708
のれん償却額	709	－
負ののれん償却額	－	△258
賞与引当金の増減額（△は減少）	△89,100	1,900
貸倒引当金の増減額（△は減少）	13,516	△3,498
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△25,910	3,097
退職給付引当金の増減額（△は減少）	145,119	△650,570
受取利息及び受取配当金	△18,070	△12,927
支払利息	15,285	25,717
社債発行費償却	－	673
持分法による投資損益（△は益）	△5,679	△15,335
投資有価証券売却損益（△は益）	370	－
投資有価証券評価損益（△は益）	91,661	67,242
新株予約権戻入益	－	△81,288
会員権評価損	9,875	－
売上債権の増減額（△は増加）	3,723,503	2,642,890
たな卸資産の増減額（△は増加）	△44,754	△242,187
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,891,480	△1,844,043
その他	△249,041	△292,982
小計	1,413,069	△586,155
利息及び配当金の受取額	18,023	13,648
利息の支払額	△16,005	△27,293
法人税等の支払額	△72,653	△62,381
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,342,434	△662,183
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,245	△1,395
定期預金の払戻による収入	－	300,000
有形固定資産の取得による支出	△5,635	△2,068
投資有価証券の取得による支出	△5,512	△112,599
投資有価証券の売却による収入	4,779	－
無形固定資産の取得による支出	△9,277	△105,189
その他	5,433	4,044
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,457	82,792
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	－	100,000
短期借入金の返済による支出	△1,000,000	△100,000
長期借入れによる収入	－	200,000
長期借入金の返済による支出	△72,036	－
リース債務の返済による支出	△11,773	△11,968
社債の発行による収入	－	782,985
自己株式の取得による支出	△1,015	△729
配当金の支払額	△79	△15
少数株主への配当金の支払額	△1,890	△1,350
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,086,795	968,921

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年９月30日）
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	244,180	389,530
現金及び現金同等物の期首残高	1,233,053	2,934,981
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,477,234	3,324,511

(4)継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

６．その他の情報

受注および販売の状況

(1)連結受注実績

（単位：千円）

部門・品目 ＼ 期別		当第２四半期 (21.4.1～21.9.30) 受注高	構成比	前第２四半期 (20.4.1～20.9.30) 受注高	構成比	対前年同期増減率	当四半期 (21.7.1～21.9.30) 受注高	構成比	前連結会計年度 (20.4.1～21.3.31) 受注高	構成比
情報通信機器		4,248,824	% 25.3	5,410,448	% 29.4	% △21.5	2,500,426	% 26.5	10,437,731	% 30.2
ソリューションサービス	ソフトウェアサービス	8,564,497	51.0	6,668,367	36.2	28.4	4,950,720	52.4	13,197,480	38.2
	保守サービス	2,652,194	15.8	3,239,563	17.5	△18.1	1,221,482	12.9	6,258,549	18.2
	ネットワーク工事	1,334,060	7.9	3,114,825	16.9	△57.2	770,048	8.2	4,632,628	13.4
小計		12,550,751	74.7	13,022,755	70.6	△3.6	6,942,251	73.5	24,088,657	69.8
合計		16,799,576	100.0	18,433,204	100.0	△8.9	9,442,678	100.0	34,526,389	100.0

(2)連結販売実績

（単位：千円）

部門・品目 ＼ 期別		当第２四半期 (21.4.1～21.9.30) 金額	構成比	前第２四半期 (20.4.1～20.9.30) 金額	構成比	対前年同期増減率	当四半期 (21.7.1～21.9.30) 金額	構成比	前連結会計年度 (20.4.1～21.3.31) 金額	構成比
情報通信機器		4,811,379	% 32.1	7,479,301	% 38.9	% △35.7	2,846,817	% 31.5	13,664,913	% 35.0
ソリューションサービス	ソフトウェアサービス	6,135,435	41.0	6,280,707	32.6	△2.3	3,935,388	43.5	14,112,172	36.2
	保守サービス	2,748,536	18.4	3,080,882	16.0	△10.8	1,411,674	15.6	6,082,507	15.6
	ネットワーク工事	1,272,506	8.5	2,403,891	12.5	△47.1	853,563	9.4	5,149,569	13.2
小計		10,156,478	67.9	11,765,481	61.1	△13.7	6,200,626	68.5	25,344,249	65.0
合計		14,967,858	100.0	19,244,782	100.0	△22.2	9,047,443	100.0	39,009,163	100.0

（財）財務会計基準機構会員

【訂正前】

平成 22 年３月期　第２四半期決算短信

平成 21 年 11 月 12 日

上 場 会 社 名　大興電子通信株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　8023　　ＵＲＬ　http://www.daikodenshi.jp/
代　　表　　者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）高橋　正道
問合せ先責任者　（役職名）執行役員 管理本部副本部長（氏名）荻田　修　TEL(03)3266-8111
四半期報告書提出予定日　平成 21 年 11 月 13 日
配当支払開始予定日　―

（百万円未満切捨て）

１．平成 22 年３月期第２四半期の連結業績（平成 21 年４月１日～平成 21 年９月 30 日）

(1)連結経営成績（累計）　（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22 年３月期第２四半期	14,967	△22.2	△251	－	△251	－	△342	－
21 年３月期第２四半期	19,244	－	△252	－	△254	－	△451	－

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
22 年３月期第２四半期	△27.53	－
21 年３月期第２四半期	△36.21	－

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円　銭
22 年３月期第２四半期	18,909	3,129	16.2	246.70
21 年３月期	20,842	3,452	16.0	267.02

（参考）自己資本　22 年３月期第２四半期　3,070 百万円　　21 年３月期　3,324 百万円

２．配当の状況

	１株当たり配当金				
（基準日）	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	年間
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
21 年３月期	－	0.00	－	0.00	0.00
22 年３月期	－	0.00			
22 年３月期（予想）			－	0.00	0.00

（注）配当予想の当四半期における修正の有無　：　無

３．平成 22 年３月期の連結業績予想（平成 21 年４月１日～平成 22 年３月 31 日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	36,000	△7.7	1,038	－	1,053	－	825	－	66.24

（注）連結業績予想数値の当四半期における修正の有無　：　無

４．その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）　：　無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　有

(注)詳細は、４ページ【定性的情報・財務諸表等】４．その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

① 会計基準等の改正に伴う変更　：　有

② ①以外の変更　：　無

(注)詳細は、４ページ【定性的情報・財務諸表等】４．その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	22年３月期第２四半期	12,561,219株	21年３月期	12,561,219株
② 期末自己株式数	22年３月期第２四半期	115,699株	21年３月期	111,424株
③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間）	22年３月期第２四半期	12,447,534株	21年３月期第２四半期	12,457,667株

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性がありますことをご承知おきください。

【定性的情報・財務諸表等】

１．連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な景気低迷の影響により、企業収益や設備投資は大幅な減少を続け、雇用は極めて厳しい情勢となっているものの、輸出や個人消費に改善傾向が出てきており、景気に持ち直しの動きが見られております。当情報サービス業界は、企業の収益低迷が長期化していることから、設備投資に対する意欲は抑制傾向にあり、厳しい経営環境が続いております。

こうした環境のなか、当社グループは業績改善実施プランを策定し、アカウントプラン活用による安定収益の確保、高収益ビジネスへのシフト、営業効率の向上、諸経費全般にわたるコスト削減活動の実行等成長基盤の確立と利益構造の改革を進めてまいりました。

部門別に概観いたしますと、情報通信機器部門は企業の投資抑制とハードウェアの価格競争激化により、受注高 42 億 48 百万円（前年同期比 78.5%）、売上高 48 億 11 百万円（前年同期比 64.3%）と前年同期比で減少いたしました。

ソリューションサービス部門は、受注高 125 億 50 百万円（前年同期比 96.4%）、売上高 101 億 56 百万円（前年同期比 86.3%）。同部門の内訳としては、ソフトウェアサービスは、受注高 85 億 64 百万円（前年同期比 128.4%）、売上高 61 億 35 百万円（前年同期比 97.7%）、保守サービスが、受注高 26 億 52 百万円（前年同期比 81.9%）、売上高 27 億 48 百万円（前年同期比 89.2%）、ネットワーク工事が、受注高 13 億 34 百万円（前年同期比 42.8%）、売上高 12 億 72 百万円（前年同期比 52.9%）であります。

この結果、当第２四半期連結累計期間の業績は、受注高 167 億 99 百万円、（前年同期比 91.1%）、売上高 149 億 67 百万円（前年同期比 77.8%）となりましたが、利益面につきましては、付加価値の高いビジネスへの集中化および原価削減策により売上高売上原価率が 1.8 ポイント改善されるとともに、コスト削減による販売費及び一般管理費の減少により営業損失２億 51 百万円（前年同期営業損失２億 52 百万円）、経常損失２億 51 百万円（前年同期経常損失２億 54 百万円）となりました。なお、新株予約権戻入益を主とした特別利益 82 百万円、特別損失として投資有価証券評価損 67 百万円、法人税等１億１百万円を計上した結果、四半期純損失は、３億 42 百万円（前年同期四半期純損失４億 51 百万円）となりました。

＜当社グループの四半期業績の特性について＞

情報サービス産業の特性として、ハードウェアならびにシステムの導入および更新が年度の節目である９月、３月に集中して計上される傾向にあるため、当社グループの売上高および利益は、第２四半期、第４四半期に集中、増加する特性があります。

２．連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末より19億33百万円減少し、189億９百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が26億39百万円減少し、現金及び預金が３億89百万円、仕掛品が２億46百万円増加したことであります。

負債合計については、前連結会計年度末より16億10百万円減少し、157億79百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が18億44百万円、退職給付引当金が６億50百万円減少し、社債が８億円増加したことであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、６億 62 百万円の支出（前年同期は 13 億 42 百万円の収入）となりました。これは主に売上債権の減少による 26 億 42 百万円の収入及び退職給付引当金の減少による６億 50 百万円の支出、仕入債務の減少による 18 億 44 百万円の支出によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、82 百万円の収入（前年同期は 11 百万円の支出）であり、主に定期預金の払戻しによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、９億 68 百万円の収入（前年同期は 10 億 86 百万円の支出）であり、主に社債発行によるものであります。

これらの結果、当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度の期末残高より３億 89 百万円増加し、33 億 24 百万円となりました。

３．連結業績予想に関する定性的情報

業績予想は、平成 21 年５月 15 日公表時から変更しておりません。

当第２四半期連結会計期間の業績は、概ね計画どおり推移しておりますが、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

４．その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①棚卸資産の評価方法は、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

②固定資産の減価償却の算定方法は、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

請負工事及びソフトウェアの受注制作に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準及び検収基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号　平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号　平成19年12月27日）を第１四半期連結会計期間より適用し、第１四半期連結会計期間以降に着手した請負工事及びソフトウェアの受注制作のうち、当第２四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められるものについては工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他については工事完成基準及び検収基準を適用しております。

これにより売上高は15百万円増加し、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失は４百万円減少しております。

５．四半期連結財務諸表】

（1）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第２四半期連結会計期間末 （平成21年９月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成21年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,443,940	3,054,364
受取手形及び売掛金	6,485,073	9,124,151
機器及び材料	14,832	19,772
仕掛品	4,623,634	4,377,362
その他	579,805	391,123
貸倒引当金	△6,006	△6,136
流動資産合計	15,141,280	16,960,638
固定資産		
有形固定資産	1,352,171	1,375,074
無形固定資産	225,711	142,215
投資その他の資産		
投資有価証券	1,558,426	1,416,903
その他	704,559	1,040,044
貸倒引当金	△89,348	△92,717
投資その他の資産合計	2,173,637	2,364,231
固定資産合計	3,751,520	3,881,521
繰延資産	16,341	－
資産合計	18,909,142	20,842,159
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,925,903	5,769,946
短期借入金	1,893,000	1,825,000
１年内償還予定の社債	265,200	－
未払法人税等	59,948	86,733
賞与引当金	435,000	433,100
製品保証引当金	3,900	5,100
その他	1,107,934	1,207,766
流動負債合計	7,690,885	9,327,647
固定負債		
社債	534,800	－
長期借入金	132,000	－
退職給付引当金	7,241,596	7,892,167
役員退職慰労引当金	122,038	118,940
手数料返還引当金	9,000	11,000
負ののれん	258	516
その他	49,045	39,884
固定負債合計	8,088,739	8,062,510
負債合計	15,779,625	17,390,157

（単位：千円）

	当第２四半期連結会計期間末 （平成21年９月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成21年３月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,654,257	3,654,257
資本剰余金	272,811	272,811
利益剰余金	△810,925	△468,279
自己株式	△27,366	△26,636
株主資本合計	3,088,777	3,432,152
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△18,443	△106,384
繰延ヘッジ損益	－	△1,436
評価・換算差額等合計	△18,443	△107,821
新株予約権	－	72,392
少数株主持分	59,183	55,279
純資産合計	3,129,516	3,452,002
負債純資産合計	18,909,142	20,842,159

(2) 四半期連結損益計算書

(第２四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成20年４月１日 至　平成20年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成21年４月１日 至　平成21年９月30日)
売上高	19,244,782	14,967,858
売上原価	16,156,298	12,292,875
売上総利益	3,088,484	2,674,982
販売費及び一般管理費	3,340,878	2,926,117
営業損失（△）	△252,393	△251,134
営業外収益		
受取利息	5,431	2,760
受取配当金	12,420	10,167
負ののれん償却額	－	258
持分法による投資利益	－	15,335
その他	20,674	11,736
営業外収益合計	38,526	40,258
営業外費用		
支払利息	15,285	25,717
投資事業組合運用損	8,083	11,426
支払手数料	10,355	－
その他	7,094	3,232
営業外費用合計	40,819	40,376
経常損失（△）	△254,687	△251,252
特別利益		
貸倒引当金戻入額	－	1,627
新株予約権戻入益	－	81,288
手数料返還引当金戻入額	4,892	－
特別利益合計	4,892	82,915
特別損失		
投資有価証券売却損	370	－
会員権評価損	9,875	－
投資有価証券評価損	91,661	67,242
特別損失合計	101,907	67,242
税金等調整前四半期純損失（△）	△351,702	△235,578
法人税、住民税及び事業税	38,648	41,683
法人税等調整額	65,238	60,128
法人税等合計	103,886	101,812
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△4,514	5,254
四半期純損失（△）	△451,073	△342,645

（第２四半期連結会計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結会計期間 （自　平成20年７月１日 至　平成20年９月30日）	当第２四半期連結会計期間 （自　平成21年７月１日 至　平成21年９月30日）
売上高	11,490,007	9,047,443
売上原価	9,370,296	7,282,530
売上総利益	2,119,710	1,764,912
販売費及び一般管理費	1,596,771	1,520,921
営業利益	522,939	243,991
営業外収益		
受取利息	3,060	1,281
受取配当金	3,151	2,386
負ののれん償却額	―	129
持分法による投資利益	10,377	20,135
その他	9,593	7,072
営業外収益合計	26,183	31,005
営業外費用		
支払利息	6,948	13,551
投資事業組合運用損	8,083	11,426
支払手数料	5,272	―
その他	4,238	2,192
営業外費用合計	24,543	27,170
経常利益	524,579	247,826
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,611	624
手数料返還引当金戻入額	3,976	―
特別利益合計	5,587	624
特別損失		
会員権評価損	9,875	―
投資有価証券評価損	89,496	67,242
特別損失合計	99,371	67,242
税金等調整前四半期純利益	430,795	181,208
法人税、住民税及び事業税	17,526	26,107
法人税等調整額	△121,585	△105,633
法人税等合計	△104,058	△79,526
少数株主利益	10,533	8,827
四半期純利益	524,320	251,907

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失（△）	△351,702	△235,578
減価償却費	83,848	49,708
のれん償却額	709	－
負ののれん償却額	－	△258
賞与引当金の増減額（△は減少）	△89,100	1,900
貸倒引当金の増減額（△は減少）	13,516	△3,498
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△25,910	3,097
退職給付引当金の増減額（△は減少）	145,119	△650,570
受取利息及び受取配当金	△18,070	△12,927
支払利息	15,285	25,717
社債発行費償却	－	673
持分法による投資損益（△は益）	△5,679	△15,335
投資有価証券売却損益（△は益）	370	－
投資有価証券評価損益（△は益）	91,661	67,242
新株予約権戻入益	－	△81,288
会員権評価損	9,875	－
売上債権の増減額（△は増加）	3,723,503	2,642,890
たな卸資産の増減額（△は増加）	△39,836	△240,900
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,891,480	△1,844,043
その他	△249,041	△292,982
小計	1,413,069	△586,155
利息及び配当金の受取額	18,023	13,648
利息の支払額	△16,005	△27,293
法人税等の支払額	△72,653	△62,381
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,342,434	△662,183
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,245	△1,395
定期預金の払戻による収入	－	300,000
有形固定資産の取得による支出	△5,635	△2,068
投資有価証券の取得による支出	△5,512	△112,599
投資有価証券の売却による収入	4,779	－
無形固定資産の取得による支出	△9,277	△105,189
その他	5,433	4,044
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,457	82,792
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	－	100,000
短期借入金の返済による支出	△1,000,000	△100,000
長期借入れによる収入	－	200,000
長期借入金の返済による支出	△72,036	－
リース債務の返済による支出	△11,773	△11,968
社債の発行による収入	－	782,985
自己株式の取得による支出	△1,015	△729
配当金の支払額	△79	△15
少数株主への配当金の支払額	△1,890	△1,350
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,086,795	968,921

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年９月30日）
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	244,180	389,530
現金及び現金同等物の期首残高	1,233,053	2,934,981
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,477,234	3,324,511

(4)継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

６．その他の情報

受注および販売の状況

(1)連結受注実績

（単位：千円）

部門・品目 ＼ 期別		当第２四半期 (21.4.1～21.9.30) 受注高	構成比	前第２四半期 (20.4.1～20.9.30) 受注高	構成比	対前年同期増減率	当四半期 (21.7.1～21.9.30) 受注高	構成比	前連結会計年度 (20.4.1～21.3.31) 受注高	構成比
情報通信機器		4,248,824	% 25.3	5,410,448	% 29.4	% △21.5	2,500,426	% 26.5	10,437,731	% 30.2
ソリューションサービス	ソフトウェアサービス	8,564,497	51.0	6,668,367	36.2	28.4	4,950,720	52.4	13,197,480	38.2
	保守サービス	2,652,194	15.8	3,239,563	17.5	△18.1	1,221,482	12.9	6,258,549	18.2
	ネットワーク工事	1,334,060	7.9	3,114,825	16.9	△57.2	770,048	8.2	4,632,628	13.4
小計		12,550,751	74.7	13,022,755	70.6	△3.6	6,942,251	73.5	24,088,657	69.8
合計		16,799,576	100.0	18,433,204	100.0	△8.9	9,442,678	100.0	34,526,389	100.0

(2)連結販売実績

（単位：千円）

部門・品目 ＼ 期別		当第２四半期 (21.4.1～21.9.30) 金額	構成比	前第２四半期 (20.4.1～20.9.30) 金額	構成比	対前年同期増減率	当四半期 (21.7.1～21.9.30) 金額	構成比	前連結会計年度 (20.4.1～21.3.31) 金額	構成比
情報通信機器		4,811,379	% 32.1	7,479,301	% 38.9	% △35.7	2,846,817	% 31.5	13,664,913	% 35.0
ソリューションサービス	ソフトウェアサービス	6,135,435	41.0	6,280,707	32.6	△2.3	3,935,388	43.5	14,112,172	36.2
	保守サービス	2,748,536	18.4	3,080,882	16.0	△10.8	1,411,674	15.6	6,082,507	15.6
	ネットワーク工事	1,272,506	8.5	2,403,891	12.5	△47.1	853,563	9.4	5,149,569	13.2
小計		10,156,478	67.9	11,765,481	61.1	△13.7	6,200,626	68.5	25,344,249	65.0
合計		14,967,858	100.0	19,244,782	100.0	△22.2	9,047,443	100.0	39,009,163	100.0